

英語リーディングの教授法私案

西 本 徹

はじめに（本論文の目的）

英語の4技能であるリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングは相互に補完的であるが、リーディングを充実させることによりライティングやスピーキングの内容をより豊かで知的にすることができる。そのためには、英語教員は学習者に対して、英語で書かれたものをできるだけたくさん読むように促すことが大切である。また、インターネット時代を迎えて久しい今日、スピーディーな英文読解力が求められており、すばやく内容を読み取ることのできる能力を体得させるような教授法を開発することが必要である。本論文で、レベル的にも内容的にも多様な英文を実例として、リーディングをどのように指導すべきか、その方法論を考えてみたい。

スピーディーなリーディングに欠かすことのできないのは、前後の内容から単語や語句の意味をとらえる推測力である。知っている語彙の量が不足しているために文章の意味がつかめない場合でも推測力を使って克服できることが多い。学習者がスピーキングやライティングで使える英語の語彙では間に合わないものがリーディングの際に出てくるのは当然であるが、知らない語句に出会うたびに英和辞典で調べていたのでは、内容を理解するのに時間がかかりすぎる。いちいち日本語に訳すのではなく、前後の内容から、その意味を推測する力をつけることが早道である。百パーセント正しくなくても、近い意味が把握

できれば問題はない。どうしても辞書を引くのであれば英和辞典ではなく、英語学習者用の Learner's English Dictionary を頼りにすべきで、そうすることにより英語を英語で理解する力がつく。

前後の内容から単語や語句の意味をとらえる推測力

Example 1:

An amphibious tourist bus called the SKY Duck will give tourists the chance to tour Tokyo by road and river. (*Asahi Japan Watch*: 16 November 2011)

tour Tokyo by road and river とあるので、amphibious の意味は「水陸両用の」という意味であることが分かる。

amphibious という単語の説明として、COLLINS COBUILD ENGLISH DICTIONARY には、2. An amphibious vehicle is a vehicle which is able to move on both land and water. というように文脈から語句の意味が分かるように工夫されている。

Example 2:

A total of 32 residents and owners of homes in Urayasu, Chiba Prefecture, on Feb. 2 sued real estate developer Mitsui Fudosan Co. for about ¥700 million in liquefaction damages related to the Great East Japan Earthquake on March 11. (*The Japan Times*: 3 February 2012)

liquid は「液体」であることから、東日本大震災で液状化被害を受けた住宅があることを知っていれば、liquefaction の意味が「液状化」であることは推測できるだろう。

Example 3:

Japanese society used to frown on shotgun weddings, but recently more and more

women are walking down the aisle visibly pregnant.

<<http://www.tressugar.com/Shotgun-Weddings-Rise-Japan-3355539>> (6 March 2012)

shotgun wedding の意味は more and more women are walking down the aisle visibly pregnant がヒントになる。日本語の「できちゃった結婚」に相当するが、英語と日本語とでは随分とニュアンスが違う。shotgun は「猟銃」。自分の娘を妊娠させた相手の男性に、その父親が無理やり結婚を迫ることが由来である。

自分がしたことでも「お湯がわきました」「お茶がはいりました」のように何かが自然発生したかのような表現が多い日本語と、主体的に「～した」と表現する英語における両者の文化の違いがあることを認識しなければならない。

本文中の aisle は日本ではヴァージンロードと呼ぶ、それは、日本の結婚式場業界が名づけた和製英語である。

大学英語教科書として私とアメリカ人との共著になる *Opposing Views Welcome* (Benjamin Porter & Toru Nishimoto, Seibido, 2005) は、難しい語彙を理解するのにヒントになる箇所をわかりやすく書いてあり、英語を英語で理解する習慣を体得せようとするものである。語句自体は難しいものもあるが、明解なヒントがあるために、大部分の学生は初級レベルであっても意味を即座に把握できる。このテキストは初級レベルであるが、シリーズものとして同じ出版社から出したものに、中級では *Both Sides Now* (Toru Nishimoto & Benjamin Porter, Seibido, 1999), また上級レベルでは *Debating Current Issues* (Toru Nishimoto & Beryl Hawkins, Seibido, 2010) がある。このシリーズの目的は、さまざまな賛否両論に分かれやすいトピックについて、最終的には学習者自身がチームを組み英語でディベートをできるようにすることである。そのためには、①テキストのリーディング・エクササイズを読み、辞書を使わずに内容をできるだけ早く把握させる。難しい語句の理解は、ヒントとして説明してある箇所を頼りに読

み進む。②テキストには、学習者がスピーチやディベートをする上での必須表現を自分のものにすることができるように、数多くのエクササイズを組み重ねにより自然と覚えられるような工夫がしてある。③さらにテキスト以外にもインターネットを利用し、関連した内容のものを読み情報を収集し、スピーチやディベートに応用させている。

以下、*Opposing Views Welcome* からごく一部を抜粋し、下線上の難しい語句の意味を推測させる実例を示してみたい。イタリックの部分ヒントである。

I. ZOOS

1. Many people believe that zoos play a very important role in conservation, *the preservation and protection of animals*. (p.1)
2. Since animals in captivity *are kept in zoos*, they must learn survival techniques before being reintroduced into the wild. (p.1)
3. Breeding in captivity is sometimes done near species' natural habitats to prepare them to survive in their *natural environment*. (p.2)

II. VEGETARIANISM

1. People become weak if they don't get adequate nutrition. It's the *good things in food, like vitamins and minerals*, that make us healthy and strong. (p.43)
2. Humans have evolved over millions of years from early life forms. They *have changed to adapt to their environment*. (p.44)
3. Carnivores *eat meat*, herbivores *eat vegetables and plants*, and omnivores *eat both*. (p.44)

次に、学習者のレベル別に書かれた英文読み物（ラダーシリーズ）からレベル1の*The Gandhi Story* (Jake Ronaldson, IBCパブリッシング, 2010)を取り上げる。しかし、最も基礎的なレベルとはいえ、英語圏で書かれ非英語圏の学習者を対象とされているものには、日本人の場合には大学生でさえ今までに見たこ

とのない語句がときどき出てくる。

(レベル 1 = 中学校で学習する単語約 1000 語, レベル 2 = レベル 1 の単語 + 使用頻度の高い単語約 300 語, レベル 3 = レベル 1 の単語 + 使用頻度の高い単語約 600 語, レベル 4 = レベル 1 の単語 + 使用頻度の高い単語約 1000 語, レベル 5 = 語彙制限なし, である。日本の短大や大学では基礎力がまだ十分ではないと思われる学生にはレベル 1 ~ 3 ぐらいのシリーズを多読させ、英語に自信をつけさせるとよい。内容について英語で質疑応答ができる、本を開かなくても大意は英語で言えるといった徹底した基礎力強化が重要であり、それを怠り、使用教材と授業のレベルだけが上がると、学習者を困らせてしまう。)

この本には多くの語句に英和辞典にあるような説明がしてある。学生の英語能力は基礎レベルであっても、この種のイージー・リーディングを短大や大学の授業で使用する場合は英語を中心に進めても学生は十分に理解できるであろう。ここでは、難しいと思われる語句を下線部で示し、その意味を理解する上でヒントとなる箇所をイタリックにする。特に基礎レベルでは、下線部をヒントとして難しい語句を理解するようにという指示の他にも、その語句を教員が繰り返し英語で十分かつ平易な説明をしてあげる必要がある。

1. Putlibai was a very religious woman. She went to a Hindu temple every day. So often fasted, and once, in the rainy season, *she said she was not going to eat until she saw the sun again.* (p.5)

(教員の説明例)

In Hinduism, fasting is very important. To fast is to eat no food for a period of time, for some long hours.

Breakfast is the first meal of the day, usually eaten in the early part of the morning after you fast for six, seven or eight hours of sleep, for example.

2. Now Gandhi had enough money, but there was one more problem. *Gandhi could*

not be a good Hindu in England. The only way for Gandhi to go to England was to be excommunicated. When Gandhi left India, it was a very sad time. His family could not come to say goodbye to him because *he was not a Hindu anymore*. (p.14)

(教員の説明例)

If you are excommunicated, you are no longer allowed to be a member of the religion. To be excommunicated is usually a religious punishment when a member of the religion has done something very bad.

3. Gandhi and the Indians continued their struggle for seven years. In those seven years, thousands of Indians *went to jail*, were flogged, and sometimes even *killed*.

(教員の説明例)

If someone is flogged, they are hit very hard with a whip or stick as a punishment. It's very painful.

やはり、できれば短大や大学時代に英語圏で一般読者に向けて書かれた本を読めるようになって欲しいものである。ある程度の英語力（中級、より具体的には英検2級や準1級程度）があれば、比較的読みやすいものの例として「人生論」や「伝記」そして「ニュース英語」がある。

DON'T SWEAT THE SMALL STUFF (Richard Carlson, Hyperion, 1997)から抜粋してみる。

1. There are many similar, “small stuff” examples that occur every day in our lives. Whether we had to wait in line, listen to unfair criticism, or do the lion's share of the work, it pays enormous dividends if we learn not to worry about little things. (p.p.7-8)

下線部は、たとえ知らなかった表現だとしても、直訳すれば「ライオンの仕事分担をする」だから、「大きな仕事を割り当てられる」に近い意味は考えられるだろう。

2. Rather than being content and grateful for what we have, we are focused on what's wrong with something and our need to fix it. When we are zeroed in on what's wrong, it implies that we are dissatisfied, discontent.(p.9)

下線部の意味だけを問われたなら、上級者も戸惑ってしまうだろう。それが、分からなくても、「欠点をほじくり出してばかりいると、人生に満足できないようになってしまう」という全体の概要を把握すれば十分なのである。下線部は、前のセンテンスにある are focused on を言い換えているのだが、When we only think about ~としても差し支えない。

3. Needless to say, it's impossible to feel peaceful with your head full of concerns and annoyances. The solution is to notice what's happening in your head before your thoughts have a chance to build any momentum. The sooner you catch yourself in the act of building your mental snowball, the easier it is to stop. (p.14)

下線部は次のセンテンスにある building your mental snowball と同じこと。「あれこれと考えが押し寄せてくること」「頭が雪だるまのようにふくらむこと」である。

4. Then, instead of obsessing on your upcoming day, you say to yourself, "Whew, there I go again," and consciously nip it in the bud. You stop your train of thought before it has a chance to get going. (p.14)

下線部は、「蓄のうちに刈り取る」という意味だが難しいかもしれない。

次のセンテンスにある「思考の列車が発車する前に止めること」の方が分かりやすいから、そこから下線部に戻って推測すればよい。

5. Rather than jumping right in and saying, “Once I did the same thing” or “Guess what I did today,” bite your tongue and notice what happens. Just say, “That’s wonderful,” or “Please tell me more,” and leave it at that. (p.26)

bite your tongue とは、文字通りに日本語訳をすれば「唇をかむ」という意味であることが分からない人は少ないであろうが、その具体的なここでの意味は「悔しがる」だろうか、それとも「気持ちを抑える」だろうか。後者の方である。本文の要旨は、人の話をさえぎらずに相手に花を持たせるようにつとめるべきだということである。

6. Perhaps the obnoxious driver or disrespectful teenager is here to teach you about patience, the punk rocker might be here to teach you to be less judgmental. (p.31)

obnoxious の意味は初めから分からなくても or でつながっており disrespectful に似たような悪い意味をもつ形容詞であることが分かれば十分である。同意語は unpleasant 「不快な」であるが、driver の形容詞だから「困った」とか「迷惑な」(運転士) という具合に考えればよい。

7. Those who are in the habit of correcting others are often resented and avoided. (p.34)

下線部の正確な意味は知らなくても and の次の avoided の意味が分かれば、resented も disliked と自分なりに言い換えて「嫌われる」といった意味で解釈してよい。

8. There is something rejuvenating and peaceful about being alone and having some time to reflect, work or simply enjoy the quiet. (p.69)

この単語の意味は分からなくても、センテンスを理解するのに、ほとんど障害とはならない。なぜならandで結ばれており、次のpeacefulと並列する意味を考えればよいからである。「落ち着かせる」「自分に戻れる」「心が元気になる」「ほっとする」などが考えられよう。

9. Life isn't fair. It's a bummer, but it's absolutely true. (p.47)

bummerなどという単語を知っている日本人の英語学習者は皆無に等しいだろう。こんなときにもいちいち辞書を引かず、推測した方が早く読める。「人生は公平ではない。それは、○○○だけれども、全く本当だ」ということだから、「悔しいこと」「不愉快なこと」「頭にくること」などを連想しよう。

10. For many of us, our lives are so filled with stimuli, not to mention responsibilities, that it's almost impossible for us to sit still and do nothing, much less relax – even for a few minutes. A friend of mine once said to me, “People are no longer human beings. We should be called human doings.” (p.49)

human doingsなどという英語はもともとなく、これは筆者の諧謔的な造語である。しかし大意をとらえれば、「現代人はあまりにも忙しく活動している」ということを言おうとしているのだから、人間らしいhuman beingではもはやなく、英語のdoを生かして「多忙人種」あるいは二文字にして「動人」とでも訳しておけばよいだろう。

11. I'm not suggesting it's better to be outgoing than introverted, that you need to

expend tons of extra energy trying to brighten others' days, or that you should pretend to be friendly. (p.67)

introverted は難しい単語かもしれないが, outgoing の意味が分かれば, その反意語であるわけだから「内向的な」という意味を導くことができる。

12. He couldn't understand why she wanted to save every penny they earned, and she couldn't understand why he was a spendthrift. (p.74)

女性の方はかなりの貯蓄型, そして男性の方は正反対であることが明白に書かれているから, 下線部は「浪費家」であることが推測できる。

英語の「人生相談」は英語として分かりやすいだけではなく, ユーモアや巧みな表現があって面白い。また, 異文化の発見にもなる。SINCE YOU ASK ME (Ann Landers, Prentice-Hall, 1961) から抜粋するが, Dear A とあるのは, 回答者 Ann Landers への手紙, それ以外は Ann Landers 本人のエッセイである。

1. Dear A: I've been reading your column for a long time and I enjoy it a lot, but I'm sure you must make up the letters. Your column alone is worth the price of the newspaper, but I had to let you know I'm reading you regularly with tongue in cheek. (p.4)

筆者は人生相談の回答者であるアン・ランダースが書く記事内容の信ぴょう性を疑い, I'm sure you must make up the letters. と言っている。下線部は, そうした疑いの目を「舌先でほほをふくらませる」というポディ・ランゲージで示している。

2. *Dear A:* I tell him there's more to being a father than playing baseball with the kids in the backyard. If he had any gumption, he'd earn a little overtime so the girls could have decent clothes and the boys could have new bikes instead of secondhand ones. (p.25)

下線部の意味は文脈から容易に推測できよう。「(筆者の) 夫は子どもと野球をしてくれたり、よく遊んでくれるけれど、ちょっとでも〇〇があれば、もう少し残業もするだろうし、子どもたちにいろいろなもの(文中では具体的なものが列挙されている)を買ってあげられるのに」ということだから、「仕事への意欲」である。

3. *Dear A:* Ted's family had nothing. My family was prominent in social and financial circles. He said we were from different worlds, but I assured him our love could bridge the gap. I was willing to live on his salary which meant doing without many things I'd been accustomed to. The trouble began on our honeymoon. He accused my parents of putting on a ridiculously lavish wedding to flaunt their wealth. (p.29)

下線部の単語はすべて文脈から容易に想像できる。prominentはimportantと同意語である。この手紙の主(女性)は裕福な家庭で育ったことが分かる。最後の二つはlavishをgorgeousやexpensiveなどのより平易な単語で置き換え、flauntをshow off「見せびらかす」という同意語で考えればよい。

4. The young lady who orders the most expensive dinner on the menu, hints for costly gifts, and wants to go to high-priced places when she knows her boyfriend is having a financial struggle is a poor marriage bet. She is not likely to be a frugal wife, willing to cut corners and do without. (p.32)

frugal: careful to only buy what is necessaryであるが、そういうことを知らなくても frugal を goodの意味で理解しておけば十分である。

5. The shakiest interfaith marriages involve a Protestant wife and a Catholic husband. The second most unsuccessful marriages are between Jewish husbands and Gentile wives. (p.33)

うまく行かない異宗教間結婚の例として、「プロテスタントの男性とカトリックの女性」そして「ユダヤ人男性と Gentile の女性」というのだから、少なくとも Gentile とは「ユダヤ教以外の何かの宗教」と推測できよう。

6. The mixed marriages that succeed are usually between two people who are lukewarm to religion and willing to settle for a third affiliation, or none at all. If one is devout and the other has no strong religious feelings, it is sometimes possible for the indifferent one to accept the faith of his beloved without feeling enslaved. (p.34)

lukewarm とはどのような warm の具合なのか。異宗教間結婚でうまく行くのは、宗教に対して lukewarm か third affiliation で落ち着くか、あるいは全く宗教がない(none at all)なのだから想像力を働かせよう。lukewarm は「生ぬるい」イコール「熱心でない」、third affiliation は affiliation を知らなくても「第三のなにか」と考えれば「自分の宗教でも結婚相手の宗教のどちらでもない第三の宗教」であることが分かる。

7. If you are hopelessly in love with someone of another faith, knowing the odds are against it, still wish to try for a successful marriage, take heart – you may be the exception that proves the rule. (p.36)

「宗教が違う人をどうしようもなく好きになってしまったとしましょう。the odds are against itであることはわかっているけど結婚したいというのでしたら、その種の結婚は失敗するなどという決まり文句にとらわれないことね。自分たちは例外よと強気でいればいいのですから。」下線部の意味は「困難が待っている」「だれも見方してくれる人はいない」とか「二人の結婚に有利な条件は何もない」とかだろうとクイズ番組の回答者になったつもりで想像すれば正解となるかそれに限りなく近づける。

8. *Dear A: My wife doesn't talk to me unless she has a beef against my family or a complaint about the kids or me. (p.57)*

beefが、ここでは「牛肉」の意味ではないことは明白だが、文脈から complaint と同意語か類似語であることは察しがつくだろう。beefはアメリカの俗語で complaint の意味。

9. *My wife's family is a gabby bunch. They talk constantly. Sometimes they don't make much sense, but they sure do manage to keep the words going back and forth. (p.58)*

下線部のすぐあとに talk constantly とあるから、「おしゃべり」であることと簡単に理解できよう。アメリカの俗語である。

10. *The most obvious non-marriageable personality is the adult who can't cut loose from his family. This apron-string type is most frequently a male. (p.81)*

「エプロンの紐みたいなタイプ」とは面白い表現。the adult who can't cut loose from his family 「育った家族から離れられない」のであるから「大人になりきれない人（ここでは男性）」つまり「マザコンの男性」である。

mama's/mom's/mum's boy とも言う。

次にイギリスの出版社から出ている *MOTHER TERESA* (Kathryn Spink, Harperone, 1998) の一部を抜粋して読んでみよう。

The sick and ^{1.}the destitute, the beggar picked up from the streets, ^{2.}the leper rejected by his family, the dying man refused admittance to a hospital – all were taken in, fed, washed and given a place to rest. In the beginning conditions in the home for the dying were ^{3.}rudimentary in the extreme. There were times when Mother Teresa transported people in ^{4.}dire need in a workman's ^{5.}wheelbarrow. Of those brought in, those who could be treated were given whatever medical attention was possible, those who were beyond treatment were given the opportunity to die with dignity, having received the rituals of their faith: for Hindus, water from the Ganges on their lips; for Muslims, readings from the Koran; for the rare Christians, the last ^{6.}rites. To Mother Teresa and those who worked with her, restoration to health was not the all-important factor. What was equally important was enabling those who died to do so “beautifully”. For her there was no ^{7.}incongruity in the adverb. “A beautiful death”, she maintained, “is for people who lived like animals to die like angels – loved and wanted.” It was for one old man who had never slept in a bed in his life to ^{8.}clutch the metal side of his simple camp bed frame and ^{10.}proclaim with a ^{9.}radiant smile, “Now I can die like a human being”. (p.55)

難しいと思われる語句にはすべて下線を引いたが、実はそうした語句を全部取り払い、付随する語句を消してしまうとか、想像できるより平易な類似語に変更しても大意は把握できる。下線部を飛ばして和訳するならば、こうなるだろう。(日本語での試訳のうち、難易度が非常に高く省略した箇所は■で、初級・中級レベルの学習者が推測できる訳として考えられるものは〈 〉の中に書き入れた。)

病人, 1. 通りで救出された物乞い, 2. 病院から断られた瀕死状態の人と
 いったすべての人々が歓迎され, 食事を与えられ, 体を洗ってもらい, 休む場
 所を与えられた。はじめは瀕死状態の人々のホームは〈3.劣悪な〉状況であっ
 た。マザー・テレサが 4. 必要とされる人々を運搬用の〈5.押し車〉で運ん
 だこともあった。連れて来られた人々の中には, 治療ができる人にはあらゆる
 手段が講じられ, 治療が無理である人には尊厳死が選ばれた。その際, 彼らの
 信仰が重んじられ, ヒンズー教徒であれば, ガンジス川からの水を口にたらし
 てやり, イスラム教徒にはコーランを読んでやり, キリスト教徒はごく少数し
 かないなかったが彼らには〈6.聖書の引用文〉を読み上げた。マザー・テレサ
 や彼女と一緒に働く人々にとり, 健康を回復してあげることだけが最重要課題
 ということではなかった。同等に重要なことは死者を「美しく」死なせてあげ
 ることだった。彼女にとり, その表現に〈7.矛盾点〉を見ることはなかった。
 「美しい死とは, 今まで動物のように生きた人が, ここでは天使のように愛さ
 れ求められて死を迎えることです」とマザーは言った。一例をあげれば, 生涯
 に一度もベッドに寝たことのない老人が簡素なベッドの金属製フレームを
 〈8.手のひらで押さえ〉, 〈9.満面の〉笑みをたたえながら, 「ここでは人間ら
 しい死に方ができる」と〈10.喜びの声をあげた〉ということである。

1. ~ 10. の正確な意味は次の通りである。 1. 貧困者 2. ライ患者
 3. 極めて粗末な (rudimentary in the extreme) 4. 至急救助を要する (in dire
 need) 5. 一輪車, 手押し車 6. (キリスト教の) 典礼 7. 矛盾している
 と思われること 8. 手でつかむ 9. 晴れやかな, うれしそうな, にこやかな
 10. 明言した (試訳にあるように「喜びの声をあげた」と意識したほう
 がよい。)

英語の語彙がもつ様々な意味

英語の語彙の意味で代表的なものを一つだけしか知らずに, その日本語での
 意味を早合点してしまい, 全体の英文の意味がわからなくなってしまう場合が

ある。

1. GM food first came about in the early 1980s, when companies used the principles of genetic engineering to introduce foreign genes into crops such as soybeans and corn. (Toru Nishimoto & Beryl Hawkins, *Debating Current Issues*, Seibido, 2010. p.93)

ここでのforeignは「外国の」という意味ではない。「異なる」「異種の」「他から持ってきた」という意味である。全体としては、「1980年代に、企業は異なる遺伝子を大豆やトウモロコシに組み込む遺伝子工学の方法をもとに、遺伝子組み換え食物を考案した」となる。

2. Happiness is nothing more than good health and a poor memory. (Albert Schweitzer)

赤道アフリカで医療に従事し、ノーベル平和賞を受賞したシュバイツァー博士の名言。memoryを「思い出」とか「記憶」としたのでは、何のことか分からない。memoryは、ここでは「記憶力」なのだ。a poor memoryは「記憶力が悪いこと」で、より文脈に合うような意味は「いやなことはさっと忘れることができる力」である。だから、このセンテンスを語呂合わせしてうまく訳せば「幸福とは健康と健忘につきる」といった具合になる。

3. I went to work in a candy shop and he got a job in a garage. (*Since You Ask Me* p.27)

英語のgarageにも、日本語に借用されている「ガレージ」つまり「車庫」という意味もあるが、ここでは「自動車修理場」である。

4. Free education refers to education that is funded through taxation, or charitable

organizations rather than tuition fees. (*Wikipedia*)

<http://en.wikipedia.org/wiki/Free_education> (8 March 2012)

センテンス全体から、freeの具体的な意味は、税金や慈善団体の寄付で運営されているために「授業料不要の」である。「自由教育」などと誤解してはならない。

しかし次の5にあるfreeはやや異なる意味になる。

5. Remember that no marriage is free of problems. (*Since You Ask Me* p.23)

下線部は「～がない」という意味。全体の意味は、「問題がない結婚はないということを忘れないようにしなさい。」

6. A market economy is based on supply and demand with little or no government control. A completely free market is an idealized form of a market economy where buyers and sellers are allowed to transact freely (i.e. buy/sell/trade) based on a mutual agreement on price without state intervention in the form of taxes, subsidies or regulation. <<http://www.answers.com/topic/free-market#ixzz1oSz54SoX>> (8 March 2012)

ここでのfreeは「自由主義の」という意味で、政府による介入はほとんどなく、売り手側と買い手側相互による価格取り決めにより運営されるのがfree marketである。

7. There are three things extremely hard: steel, a diamond, and to know one's self. (Benjamin Franklin)

アメリカの科学者・著述家・政治家であったベンジャミン・フランクリ

ンの言葉。hardの意味は「堅い」もあれば「難しい」もある。だから、ここでは「特別にハードなものが三つある。鋼鉄とダイヤモンドと自分自身を知ること」とすればよい。

8. The next time you have the chance to correct someone, even if their facts are a little off, resist the temptation. Instead ask yourself, “What do I really want out of this interaction?” Chances are, what you want is a peaceful interaction where all parties leave feeling good. Each time you resist “being right,” and instead choose kindness, you’ll notice a peaceful feeling within. (*Don’t Sweat the Small Stuff* p.96)

ここでpartyを「パーティー」「会合」とすると誤解であり、英語には「(登山などで) 一緒に行動するグループという意味がある。日本でも登山者の事故を伝えるニュースに使われる単語であるが、真っ先に浮かぶのは会合という意味での「パーティー」であろう。本文中のall parties leave feeling goodにあるpartiesは、peopleととらえ、「皆が気分を良くしたまま帰る」と解釈すべきである。

9. Today I say to you that the challenges we face are real. They are serious and they are many. They will not be met easily or in a short span of time. But know this, America – they will be met. (Obama’s Inaugural Address)

オバマ大統領の就任演説より。be metのmetはmeetの過去分詞であるが、ここでのmeetは「会う」ではなく、「応ずる」とか「対処する」という意味である。

10. All happiness depends on a leisurely breakfast. (John Gunther)

leisureには「暇な時間」という意味もあるから、その形容詞のleisurely

は「ゆっくりとした」という意味。上の文章は、「すべての幸せは、朝食時間をゆっくりと過ごせるかどうかで決まるもの」となる。

11. Manufacturers have designed “training pants” which bridge the gap between baby diapers and normal underwear during the toilet training process.

<http://en.wikipedia.org/wiki/Training_pants> (14 March 2012)

training pants は日本語では略して「トレパン」であるが、英語では「トイレ訓練用のパンツ」をさす。ところで、トレパンに当たる正しい英語は sweat pants や gym pants である。この例文は、和製英語が邪魔をし、英語の本当の意味を分かりにくくさせている。

12. Military veterans often receive special treatment in their respective countries due to the sacrifices they made during wars. <<http://en.wikipedia.org/wiki/Veteran>> (14 March 2012)

日本語の「ベテラン」は、「あることに経験豊富で、その道においては判断や技術に信用がある人」。英語にはその意味もあるが、上の例では「退役軍人」の意味。

13. The school of Zen called Soto in Japan was founded in China by Ch’an masters Tung-shan Liang-chieh (807-869; Tozan Ryokai in Japanese) and Ts’ao-shan Pen-chi (840-901; Sozan Honjaku in Japanese).

<<http://buddhism.about.com/od/buddhismglossarys/g/Sotodef.htm>> (14 March 2012)

上記の school は「学校」ではない。「流派」とか「宗派」である。The school of Zen called Soto を短く The Soto sect of Zen (Buddhism) と言ってもよい。

The story (“Dead Poets Society”) was taken place at a traditional preparatory school in Vermont, the United States in 1959, which marks the hundredth year of the school’s existence. <<http://www.esljapan.com/students/essays/1.htm>> (14 March 2012)

preparatory (prep) schoolは日本にある「予備校」ではない。例文の『今を生きる』というアメリカ映画の舞台になっている学校は、大学進学を目指す私立校である。日本のように高校生や浪人生が通う学校とは種類が違う。

意味的に推測しがたい英語の比喩的表現

英語のイディオムには、それだけからは何とも意味を推測し難いものが多い。それは日本語と英語に現れる文化的違いが大きいためである。英語はまさに異文化である。しかし文脈をたどれば、多くの場合は意味がつかめる。いくつかのイディオムの例から考えてみたい。

1. Lemon laws assume purchases occur on good faith. In other words, consumers believe the car they’re about to buy has been inspected by the seller and certified as worthy. In the event of certain failures that render the car undrivable or simply too costly to maintain, the purchase can be declared a lemon, entitling the buyer to certain remedies.

<http://www.ehow.com/facts_5019901_definition-car-lemon-laws.html> (14 March 2012)

Lemon lawsを「レモンの品質に関する法律」と考えてしまう人もいるかもしれない。しかし、二番目のセンテンスにcarとあるし、全体の文脈からlemonは「欠陥車」であり、lemon lawとは、車を購入したあとで不具合が見つかった場合に消費者を保護する法律であることが分かる。

2. SACRAMENTO, CA - A couple of helpful citizens assisted police in the arrest of a man who showed up at a Sacramento welding shop asking for a job in nothing but his birthday suit.

<<http://www.news10.net/rss/article/180959/2/Man-arrives-for-job-request-in-birthday-suit>> (NEWS 10) (27 February 2012)

ある男性が、「誕生日のスーツを着て職探しに行った」と誤解しがちである。正しくは「裸で何も身に着けずに職探しに行った」という内容のニュース。

3. Is he really angry with me or do you think he's just pulling my leg?

<<http://idioms.thefreedictionary.com/pull+leg>> (14 March 20012)

日本語で「足を引っ張る」は「他人の成功や昇進などの邪魔をすること」や「スムーズに進むことを妨げること」だが、英語の pull one's leg の意味は全く関連性がなく、「人をからかう」とか「人を一杯食わせる」という意味である。